

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	鈴木
	全体計画						経費区分		-		内線	3516
事務事業名	4210 除雪事業											
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
施 策	16033300 橋や道路整備の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	080202 土木費・道路橋梁費・道路維持費										
	事業	020000 除雪事業										
事業目的						事業概要・効果						
冬季における道路交通の確保を図り、市民生活と市内の産業・経済活動の安定に寄与するため、迅速かつ適切な除雪作業行う。						市内のバス路線・幹線道路の除雪を実施し、交通路線の安全確保、市民生活の安定と地域産業の振興に寄与する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
除雪路線の迅速な除雪、凍結防止剤散布、排雪事業の実施。	除雪路線の迅速な除雪、凍結防止剤散布、排雪事業の実施。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		112,310	50,188
特定財源	国庫支出金	946	2,000
	都道府県支出金	0	0
	地方債	70,100	0
	その他	28,951	2,400
一般財源		12,313	45,788
人員数(人)	正規職員	1.0	0.8
	嘱託職員	0.3	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	6,968.0	5,574.4
	嘱託職員	944.7	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	7,912.7	5,574.4
市民一人当たりの経費		2.3	1.1
総額		120,222.7	55,762.4

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	7,800	消耗品費6,852、燃料費396、修繕料等552
12節 委託費	17,006	除雪委託料14,646、凍結防止剤散布車運転2,360
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	88	会議等出席負担金88
その他	87,416	役務費9,650、備品購入費74,388、機器賃借料3,204、公課費174

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	11,882	消耗品費9,600、燃料費560、修繕料等1,722
12節 委託費	30,000	除雪委託料25,000、凍結防止剤散布車運転5,000、
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	8,306	役務費3,727、備品購入費等2,400、機器賃借料2,000、公課費179

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	迅速な除雪により道路交通網を確保する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	除雪路費線以外の生活道路も協働作業により徐排雪を行う。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	除雪の出勤において的確な判断をする。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

降雪量は少なかったが常に体制を整える。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
市民生活や経済活動に支障を生じないよう、継続的な予算の確保と除雪排雪業者の確保が重要である。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
市民の冬季間における安全で円滑な道路交通の確保を図るため、予算の確保を図り進める必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	